

第8回 診断病理サマーフェスト 病理と臨床の対話

テーマ：乳腺診療のための病理診断

主催：日本病理学会

開催日：2014年8月23日（土）、24日（日）

会場：東京大学伊藤謝恩ホール

世話人：秋山 太（公益財団法人がん研究会がん研究所病理部）

参加費：20,000円（初期・後期研修医、大学院生 15,000円）

●2014年8月23日 13:30～18:30

【1】乳腺診療における病理診断の役割：秋山 太

【2】画像と病理の対比 座長：岩瀬拓士

- 1) 腫瘍性病変の診断の進め方：角田博子
- 2) 石灰化病変の診断の進め方：宮城由美
- 3) 症例検討

【3】乳癌治療の概説：中村清吾

【4】外科療法と病理診断 座長：中村清吾

- 1) 乳癌手術：岩瀬拓士
- 2) オンコプラスティックサージェリー：岩平佳子
- 3) 手術標本の病理診断（含・術中診断）：秋山 太

【5】薬物療法と病理診断 座長：伊藤良則

- 1) 薬物療法の概要（含・コンパニオン診断の重要性）：伊藤良則
- 2) ER・PgR：増田しのぶ
- 3) HER2：津田 均
- 4) Ki67：森谷卓也
- 5) 組織学的治療効果判定：堀井理絵
- 6) 悪性度・波及度：秋山 太

●2014年8月24日:9:00～12:00

【6】乳腺腫瘍の組織型分類 座長：増田しのぶ、森谷卓也

- 1) 規約分類：秋山 太
- 2) WHO分類：津田 均
- 3) 討論

【7】針生検と病理診断 座長：堀井理絵

- 1) 針生検の手技（CNB、VAB）：橋本秀行
- 2) 腫瘍性病変の針生検標本の読み方：森谷卓也
- 3) 石灰化病変の針生検標本の読み方：堀井理絵
- 4) その他：秋山 太